



図書館ドロボーを許さない！

ドロボー 1 図書館を遠くへ移転

四日市市は「中心市街地拠点施設整備基本計画」を策定しました。これは、現在の図書館（久保田）を、1.4km 東南の市役所東広場（諏訪町）へ移転させるものです。四日市市民の人口重心は大井手付近にあり、そこから遠ざかる移転のため、多くの市民にとって図書館が遠くなります。



ドロボー 2 遠くなる駐車場

新図書館の駐車場は、中央駐車場、くすの木パーキング、周辺駐車場の計3ヶ所以上となります。新図書館利用者で中央駐車場が満車になると、市役所や総合会館の来客も、くすの木パーキングや周辺駐車場へ誘導されます。3歳児検診等で、雨の日にベビーカーを押しながら、くすの木パーキング等から歩かされるようになります。

ドロボー 3 不便で危険になる図書館内

現在の図書館は、大人の図書も子どもの図書もほとんどが1階にあり、図書を探しやすく、子どもに対して大人の目が届きやすい構造です。

しかし新図書館は、子どもの図書は3階、大人の図書は4階、若者の図書は5階、図書館職員は6階、書庫は7階と、5つの階に別れるため、図書探しが不便になるほか、事故や迷子等を考えると子連れでは行きにくい図書館になります。

ドロボー 4 改善されない図書館後進都市

新図書館の床面積は、たったの6,800㎡。人口30万人都市であれば、10,000㎡の図書館床面積が必要とされるのに、その7割しかありません。

津市は、県立図書館、市立中央図書館、市立図書館分館10館の計12館の図書館があり、豊かな蔵書が住まいの身近にあります。津市と四日市市の教育環境の差は歴然としており、人口30万人都市に求められる図書館一つさえ建てられないようでは、「子育てするなら四日市」とは、ほど遠いです。

ドロボー 5 税金をドブに捨てる二重投資

新図書館の建物内に、展示空間・教室・スタジオ等を新たに造る計画ですが、総合会館、すわ公園交流館、本町プラザ、なやプラザ(旧納屋小学校)、三浜文化会館(旧三浜小学校)、橋北交流会館(旧東橋北小学校)にも、同様の設備があります。

これ以上、貸部屋や貸空間を造ることは二重投資であり、税金の無駄遣いです。



なやプラザ



三浜文化会館



橋北交流会館

ドロボー 6 建築モラルの崩壊招く、ご都合主義な敷地計画

新図書館予定地に接して、市役所の非常用電源装置を備えた市役所来庁者の自転車置場があります。この建物は、誰が見ても市役所の附属建物です。しかしこの駐輪場を新図書館に附属する建物「ということにして」、新図書館の敷地を水増ししています。白を黒と言いくるめる屁理屈を、建築主や建築会社等を指導する四日市市が率先して主張すれば、各地で敷地の水増しが多発し、建築モラルは崩壊します。

ドロボー 7 緊急出動を困難にする公用車駐車場移転

公用車駐車場を中央駐車場から250m南の職員駐車場へ移転させて、新図書館や市役所来客者の駐車台数を増やす計画ですが、このことで強風や豪雨時等の公用車緊急出動が困難になり、市民の命を守れなくなります。

ドロボー 8 市役所建て替えを困難にする先見性のなさ

市役所も現図書館も昭和47年前後に建築されたため、ゆくゆくは建て替えも考えておかねばなりません。しかし市役所東広場に新図書館を建ててしまったら、市役所建て替え時には別場所で大規模な仮庁舎が必要になり、その確保は極めて困難です。